

令和4年度重要サンゴ群集モニタリング調査報告書

奄美群島サンゴ礁保全対策協議会

1. 目的

奄美群島のサンゴ礁は、1998年の大規模なサンゴの白化現象、2000年から2008年のオニヒトデ大発生により大きな攪乱を受けた。しかしながら、白化やオニヒトデにより壊滅したサンゴ礁にもサンゴ幼生が定着し、全体的にサンゴは回復傾向にある。本調査では、奄美群島サンゴ礁保全対策事業モニタリング地点以外の調査地点を選定し、サンゴ群集の現況を把握し保全に資する事を目的とする。

2. 調査海域

喜界島の重要サンゴ群集海域2地点及び徳之島の重要サンゴ群集海域4地点を調査した。本調査では陸域からのアクセスが可能で海水浴やシュノーケリングでの利用されている海域を調査地として選定した。



調査位置図

3. 調査結果

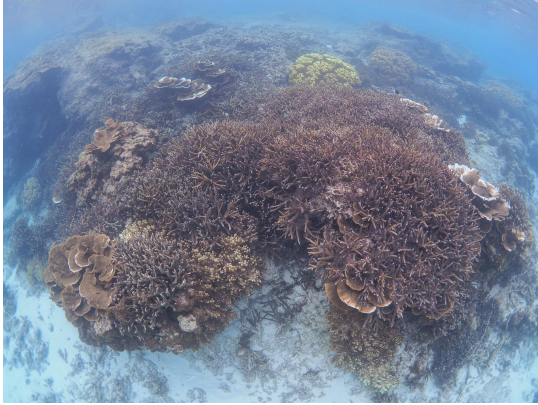
喜界島では、干出礁原に囲まれた静穏な礁池サンゴビーチで、樹枝状ミドリイシの小群落が見られた。花良治は、入り江から続く水路の礁縁に樹枝状のスギノキミドリイシや葉状のチジミウスコモンサンゴ群落が続いて見られた。両地点とも白化はほぼ見られず、サンゴ群集は概ね健全な状態が保たれていた。

徳之島では、2016年4月下旬に畦海岸礁池において大規模な白化現象が発生し、樹枝状ミドリイシ群集が白化後死滅した。畦ではシコロサンゴ類が優占しているが、ミドリイシ群集も少数見られた。母間集落地先の礁池内では、2016年7月に全体の30%程度が白化し、うち約半数が死滅した。礁池東側の沖合では樹枝状ミドリイシ小群落が見られた。与名間の礁池では、局所的にエダハマサンゴ群落が見られた。コバンシヤではシコロサンゴ類及びコモンサンゴ類の大群落が見られた。

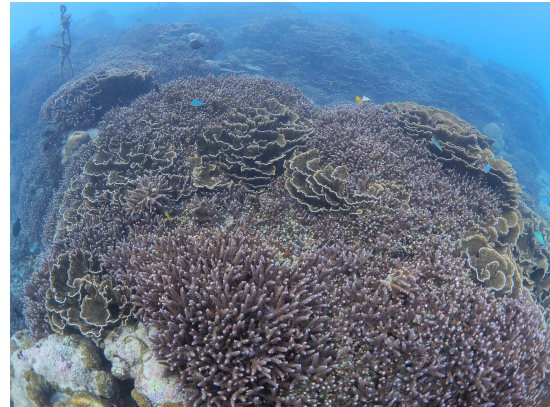
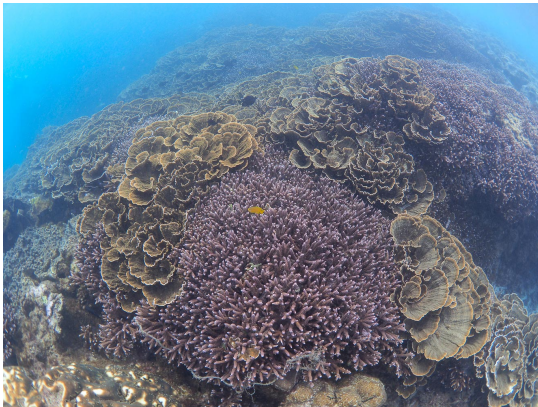
両島とも生サンゴ被度の高い海域は、海水浴やシュノーケリング等で活用されており、保全体制やモニタリング調査の拡充が求められる。

			調査地点	被度	特記事項
喜界島	喜界町	1	ハワイビーチ (礁池)	10%	干出礁原に囲まれたハワイビーチ礁池(約50m四方)は、ウネタケ類のソフトコーラルが優占し、東側では樹枝状のトゲスギミドリイシ小群落や葉状のチジミウスコモンサンゴ、塊状のハマサンゴがみられる。生サンゴ被度は10%程度であるが、静穏な環境であるため、シュノーケリングや環境教育に活用されている。白化群体はみられなかった。 (調査日:2022年11月25日)
		2	花良治 (礁縁)	50%	花良治海岸から南へ200mの礁縁。樹枝状のスギノキミドリイシや葉状のチジミウスコモンサンゴの群落がみられる。塊状のハマサンゴ科及びサザナミサンゴ科群体もみられる。ミドリイシ属小型群体がごく少数白化していた。ビーチエントリーでシュノーケリングやダイビングにも利用されており、干出礁原に囲まれた喜界島では、サンゴが観察できる数少ないポイントである。 (調査日:2022年11月24日)
徳之島	徳之島町	3	畦 (礁池)	20%	2021年5月に大規模な白化現象が発生し優占する樹枝状ミドリイシ属群体(オトメミドリイシ)と樹枝状コモンサンゴ群体(トゲコモンサンゴ)の殆どが白化し死滅した。シコロサンゴ類群体(シコロサンゴ、コノハシコロサンゴ)は白化せず現在優占している。礁池沖側では被度30%程度、陸側では10%程度であった。今夏の白化率は5%未満であった。海水浴やシュノーケリングで利用されている。 (調査日:2022年8月4日)
		4	母間 (礁池)	40%	礁池東側の沖側では樹枝状ミドリイシ属の群体(オトメミドリイシ)がみられるが、全体的にはシコロサンゴ類群体が優占している。水深が1m以下と浅い礁池で海面付近までサンゴ群体は成長しており、奄美群島の礁池の原風景が残る数少ない海域である。伏流水唐の影響で海水温上昇が抑えられていると考えられ、夏季の白化の影響は受けにくい。 (調査日:2022年8月4日)
	天城町	5	与名間 (礁池)	60%	与名間ビーチ地先の礁池内のサンゴ群集を調査。局所敵ではあるが礁原近くに樹枝状コモンサンゴ群落(エダコモンサンゴ)が広がる。樹枝状ミドリイシ群体はほとんどみられない。白化群体やオニヒトデ食痕は無く、サンゴは概ね健全な状態である。礁池内には海藻・海草類も多く繁茂している。 (調査日:2022年8月5日)
	伊仙町	6	コバンシャ (礁池)	50%	陸側はシコロサンゴ群体が散見され周囲にエダコモンサンゴ群体がみられる。沖側ではエダコモンサンゴ群落が優占している。海面まで成長している群体も多くみられる。シュノーケリング等にも活用が期待される。 (調査日:2022年8月5日)

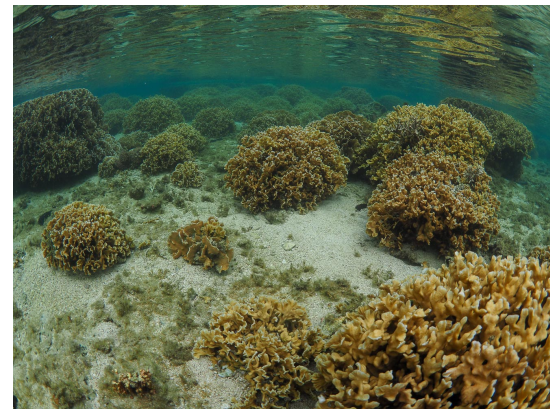
1. ハワイビーチ (被度 10%)



2. 花良治 (被度 50%)



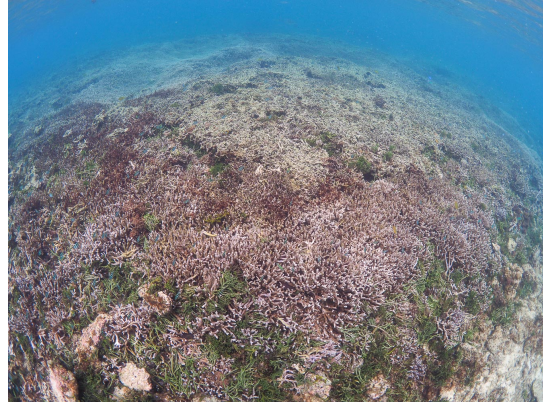
3. 畦 (被度 20%)



4. 母間 (被度 40%)



5. 与名間 (被度 60%)



6. コバンシヤ (被度 50%)

